

大きければ毎年行っている。できてうれし」と話して二年ぶりの大会開催に協力している。

及川土木設計が出前授業 児童が測量の魅力学ぶ

投げたボールの距離測定など通し

【旭川発】(株)及川土木設計(東神楽、北田宏幸社長)は七日、地域貢献の一環として、東神楽町立東神楽小学校で測量出前授業を行った。社員十一人が六年生三十五人を対象に、坂測のほか、地面に引かれたライン

赤のサルビア300株を手際よく植え込んだ。

理を定期的に行い、心が和む景観の創出に努めることとしている。

石井所長は「昨年度から実施しているが、町内会の方々からも好評だった。こ



同社では、業界の担い手不足等の様々な課題に対応していくための組織として、ファルシイソング(先

を参考に投げたソフトボールの距離を答える目測などを紹介。児童は瞳を輝かせながら、測量の魅力を楽しんで学んでいた。

地元の子もたちに測量を知ってもらうため、出前授業を企画した。

このほか、様々な測量機械を紹介したほか、出前授業中にドローンの飛行実演を行い、授業の様子を撮影。映像は後日、学校にプレゼントする予定となっている。

同社の佐藤勉常務は「普段触る機会のない測量機械に触れることで、業界に興味をもってもらえば、今後も何らかの形で社会貢献活動を続けていきたい」と話していた。

5分を何歩で歩けるか確認する児童

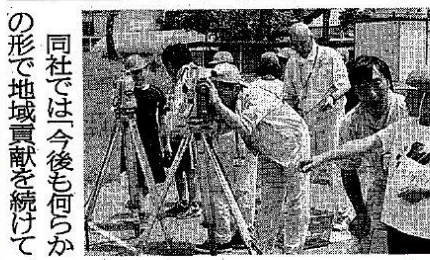
東神楽小で 測量体験学習

及川土木設計

【旭川】及川土木設計(本社・東神楽)は七日、東神楽小で六年生35人を対象に測量体験実習を開いた。測量を身近に感じてもらえるよう歩測や目測による距離当てクイズを実施したほか、トランシットなどの測量機器を紹介し、測量の仕組みや魅力を伝えた。

同社は社屋が東神楽小のそばにあることから、児童たちに測量への興味を持つてもらえればとの思いと地域貢献の意味も込め、今回初めて企画。

佐藤勉常務ら社員13人が児童らをサポートした。当日は、25分を実際に歩いて距離感覚を把握した上で、別の場所にあるスタートからゴールまでを歩測したり、投げたソフトボールがどの程度飛んだかを目測するクイズを実施。成績が優秀な児童ら



同社では今後も何らかの形で地域貢献を続けていく。

基金に100万円寄付 旭川市から感謝状

只石組

【旭川】只石組(本社・旭川)は七日、開園50周年を迎えた旭山動物園の「あさひやまもつと夢基金」と旭川市の「子ども基金」にそれぞれ50万円を寄付したことに對し、西川将人旭川市長から感謝状を受けた。写真。



同社は「こいで」で創立50周年を迎えることから、同じく50周年となった旭山動物園に寄付すること

美深で駐車場 区画線塗りの替え

大和谷工業

【旭川】大和谷工業(本社・北見、伊藤勲社長)はこのほど、地域貢献活動として美深町文化会館COM100敷地内の駐車場区画線塗り替えと周辺の清掃作業に取り組んだ。写真。